

Continue

YUTACOLOGY'S communication press

vol. **39**
2026 SPRING



Geminiを使用して制作したAI生成画像です

巻頭対談

「働きがい改革」でお客様の未来を創造する

株式会社名古屋銀行

常務執行役員 / 人材開発部部长 兼 健康経営推進室室長 鈴木 克典様

特集

第62期経営計画発表

株式会社名古屋銀行
常務執行役員
人材開発部部長兼健康経営推進室室長

鈴木 克典様



ユタコロジー株式会社 代表取締役
酒井 秀京

テーマ

「働きがい改革」で お客様の未来を創造する

2030ビジョンを掲げ

「Make Tomorrow Go Better - 今日よりも良いと思える明日を創る -」
を合言葉に「建物と人のキレイと健康」に寄与する企業を目指している当社。
今回は健康経営と地域とのかかわりについて
株式会社名古屋銀行 鈴木常務にお話を伺いました。

1995年名古屋銀行に入行し、2022年より健康経営推進室長を兼務。前任の法人営業部では健康経営コンサルティング事業を立ち上げ、地域と社内双方の健康経営推進を担う

株式会社名古屋銀行
常務執行役員
人材開発部部長兼健康経営推進室室長
鈴木 克典様



名古屋銀行の目指す健康経営
<https://www.meigin.com/about/health-management.html>

※本リンク先から名古屋銀行様の健康経営の取り組み報告「めいぎん健康白書2025」もご覧いただけます

「働き方改革」ではなく「働きがい改革」が重要

酒井 この度はインタビューの機会をご提供いただきありがとうございます。

貴社はウェルビーイング、特に健康経営に関して非常に素晴らしい取り組みをされているので、地域とのつながりとあわせてご教授いただきたいとお時間を頂戴しました。はじめに、貴社における健康経営の意義を教えてくださいませんか。

鈴木 貴社とは従業員自らがサービスを提供する労働集約型ビジネスであるという点が似ていますよね。だからこそ、従業員とその家族の健康を経営上の最重要事項と位置づけています。名古屋銀行では、2018年に未来創造業宣言をおこないました。

金融機関を取り巻く環境は厳しさを増しマイナス金利政策やデジタル化の加速等を受けて今まさに変革の時を迎えています。そうした中で、私たちは、これまでの三大業務「預金・融資・為替」などの従来の枠組みを超えて、新しいビジネスモデルを模索し、地域の皆さま、企業・個人のお客さまと一緒に様々な未来に向かって課題を解決していく、「未来創造業」へと進化していくことを誓いました。このような形で質の高いサービスを提供していくには、従業員が生き生きと働けることが大切だと考えています。

酒井 人的資本戦略やサステナビリティへの取り組みとしてとても重要な位置づけにしておられるんですね。

鈴木 そうですね。2022年6月からCHO(Chief Health Officer:健康経営最高責任者)をトップとした各部横断組織とし

て「健康経営推進室」を設置し、当社の場合は健康保持・増進に向けた取り組みだけでなく、働きがいを感じられる職場環境の整備やダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進も主管し、多様性と多面性に満ちた人材が活躍できる職場風土の構築に努めています。また、貴社がキーワードにされているウェルビーイングもここで担当しています。

酒井 重層的かつ有機的に組織全体で推進されているんですね。健康経営推進で特に注意されたポイントは何かありましたか。

鈴木 「働き方改革」という言葉がありますが、「働きがい改革」との両輪が必要であると考えています。当社では健康経営の推進方針として「こころの健康づくり」「からだの健康づくり」「良い職場環境づくり」「DE&Iの実践」の4本柱で考えていますが、例えば、制度

▼健康経営推進室の皆さん。推進室専属社員はならず、皆さん兼務で運営されています。従業員の「働きがい」向上にむけて熱意と活力をもって取り組みされています。



▲「みんなで歩こう歩みんびっく」
従業員や取引先企業さま向けのバーチャルウォーキングイベント。スマホアプリを用いてのウォーキングイベントで、所属チームのランキング戦にするなど楽しみながらできるコンテンツを開催されています。

や処遇、福利厚生などの衛生要因を充実させたからといってこれらが満たされることはなく、あくまで「働きがい」につながるように徹底しています。これは、早い時期から役員の業績連動報酬にKPIを組み込み、経営層自らが覚悟を示してきたことから本気度を理解いただけると思います。こうした取り組みの成果として「健康経営度優良法人ホワイト500」において優れたスコアで評価いただけ、「健康経営銘柄2025」に選定いただきました。

※健康経営銘柄…経済産業省と東京証券取引所が共同で、従業員の健康管理を経営視点で考え、戦略的に実践している上場企業を業種別(原則33業種)に選定する制度

地域の成長があって、銀行の成長もある

酒井 確かに働き方の先に働きがい、或いは生きがいがあるとあります。左記の衛生要因以外の部分では、どのような取り組みをされているのでしょうか。

鈴木 まず、当社では色々あるサーベイの中で仕事に積極的に向かい活力を得ている状態を評価する「ユトレヒト・ワーク・エンゲイジメント」をベースにしたものを採用しています。この結果をもとにPDCAを回しているのですが、例えば最近では改めて女性の働きがいへの課題に注視しています。こういったテーマを支店長会議などで取り上げると「厳しく指導できなくなる」というような声もあがってきます。しかし、これは違うよと、①ハラスメントは厳禁。②お互いに小さなことでも褒め合い、自己効力感を高めること。またチーム効力感を高めること。③やりきる!こと、の3点を大切に個々の成長につなげてもらっています。会社ですから目標達成には絶対こだわらなくて、時には厳しい指導もあると思いますが、組織への貢献の仕方は一つではないですし、普段からお互い小さなことにも“ありがとう”を伝え、信頼関係のある職場づくりをしておくことも必要なことだと思います。これは一例ですが、このように仕事をしていると仕事に性差は関係ないんだと実感するようになりました。

私どもは離職率3.6%と、健康経営優良法人ホワイト500(2025)の平均値よりも低い実績となっておりますが、皆が「働きがい」をもって仕事をしていただいていることが要因なのだと考えています。

酒井 貴社では社内だけでなく、取引先の企業へも働きかけをさ

～対談を終えて～

“人生100年時代をどう輝か”という観点から「今日よりも良いと思える明日を創る(ウェルビーイング)」会社を中期ビジョンに掲げ、誠実・挑戦・共感創造で「生きがい」「働きがい」に寄与したいと考えている当社において、名古屋銀行さまの取り組みは大変勉強になりました。建物と人のキレイと健康をお届けし、多くの企業様へ貢献できよう尽力してまいります。このような貴重な機会をいただき、ご縁に感謝いたします。

れておられますが、どういったお考えから取り組みをされているのでしょうか。

鈴木 まずは、地域が成長し元気になっていただくことで我々の銀行も成長できると考えています。2021年にスタートした健康宣言実施サポートや健康経営伴走支援コンサルティングをはじめ、愛知県の女性活躍認証取得サポートなどもおこなっていますが、愛知県は製造業が多い地域ですから、今後必ず大なり小なり人手不足の問題には直面される企業が多いと思っています。

現在就業されている従業員さまの働きがい＝定着はもちろんのこと、人材(人材)採用においても今後いっそう魅力的な企業であり続けることが大切だと思います。これに関連して地域のお客さまと一緒にウォーキングをおこなうイベントを開催したり、健康経営に関するセミナーを開催したりすることで企業価値向上のお手伝いをさせていただいています。

酒井 私どもはWX(ウェルビーイングトランスフォーメーション)、つまり1社単独ではなく複数の企業や地域で相互に高め合っただけでなく、当社の言葉でいえば「つながること」が重要だと考えていますが、まさにそういった先進的な活動をされているらっしゃると感じました。

鈴木 当行のお客さまには、安全衛生法上の産業医設置義務がない企業も多数いらっしゃいますから、当行で培ったノウハウを生かしながらお役立ちし、未来と一緒に創造していければいいですね。取引先企業との「パートナーシップ構築宣言」をおこない、健康経営や育児・介護等の表彰、認定取得を推奨・把握することでバリューチェーン全体でお客さまのサポートをさせていただく体制を整えています。これまで累計で健康宣言取入件数は3,288件、健康経営伴走支援コンサルティング契約先は580件となりました(2025年9月現在)。

酒井 最後に、今後の展望を教えてくださいませんか。

鈴木 繰り返しにはなりますが、お客さまとともに明るい未来を創り出す「未来創造業」にむけて、今後も当行の多様な人材が熱意と活力に満ち、「働きがい」をもって能力を発揮していける環境をつくることです。

そして従業員はもちろん、パートナー企業とも同じビジョンを描きながらお客さまにとって高い価値を提供していきます。

酒井 本日は貴重なお話をいただき、誠にありがとうございました。



第62期 経営計画発表会を 開催しました



1月23日、サイプレスガーデンホテル(熱田区金山)にて
第62期経営計画発表会を開催しました。

- 発表の目的は
- (1) 61期の振り返りと継続課題の整理
 - (2) 第62期 経営計画
 - (3) 価値の共感創造 です。

来賓企業様含め31名にご参加いただき、前号でも掲載した今年のテーマや四つの柱と各部門から具体的な取り組みを説明させていただきました。

来賓企業一覧

- | | | | | |
|----------|-------------|-----------|------------|-------------|
| 上島会計事務所 | セイフラインズ株式会社 | 中電不動産株式会社 | 野村證券株式会社 | 株式会社三菱UFJ銀行 |
| 株式会社十六銀行 | セントラル防災株式会社 | 株式会社名古屋銀行 | 富士凸版印刷株式会社 | ※五十音順・敬称略 |

2026年テーマ

超越と伸長

4つの方針

- 1. 安全・品質の確保
- 2. 売上・利益の増大
- 3. 社会的価値の向上
- 4. DXの推進

各部門からの発表

経営計画発表会において、各部門長から以下の発表をおこないました。

2026年部門テーマ **事業基盤の再構築**

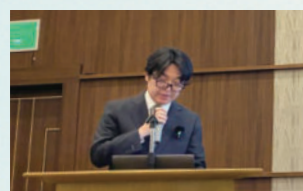
FM(ファシリティマネジメント)事業部 市川 雄一



「人材力の強化」「収益基盤の改善」「リスク耐性の向上」「DX推進」「法令順守」の5つを柱として『事業基盤の再構築』をテーマとして進めてまいります。
現場力の底上げと収益性の向上、そして安定した運営体制づくりを同時に達成することを狙っています。これらを通じて、人材・収益・リスク・デジタル・法令の各分野で総合的な改善を図り、持続的な事業成長に繋げてまいります。

2026年部門テーマ **信頼を成果に変える**

CSV事業部 栗原 武



従来、お客様との関係づくりと価値ある存在を目指す取り組みを進め、ご相談件数や改善要望への期待は着実に高まっていると感じます。お客様からの「ありがとう」や「任せてよかった」という言葉、業務の改善による現場の安全性向上、迅速な対応によるトラブル防止など、私たちが提供できる価値の更なる向上を目指します。また、信頼されるだけでなく、お客様に選ばれ続けるため、信頼を結果としてしっかり形に残します。

2026年部門テーマ **記録と情報を個人からチームへ**

業務部 永田 圭司



業務グループで行った、記憶から記録への取り組み、役割を分担して担当を設ける取り組みをもっと役立てるために、グループ内で情報を共有する仕組みを明確にします。管理グループでは、将来の日常清掃現場へのロボット導入の効果や課題の研究を進め、当部署だけでなく全社への、ひいては取引先の皆さまへの情報の発信をおこないます。

2026年部門テーマ **ウェルビーイング分野のファーストコールカンパニーになる**

Well-being事業部 久米 明日樹



お客様のウェルビーイング推進は、VUCAの時代を勝ち抜くための必須要件ですが、広義な概念であるが故に、お客様のお困り事も千差万別です。お客様と誠実に向き合い、お困りごとを正しく認識し、解決策を模索し挑戦する。そして喜びを分かち合う。情報収集に貪欲になり、「とりあえずユタコロジーに聞いてみよう」。そう思っただけの価値をお客様へ提供します。

2026年部門テーマ **「働き方改革推進」で社内外のコミュニケーションハブになる**

総務部 久米 明日樹

DX&IT・AI活用、ダイバーシティ推進、関連法対応や各種認証取得等々、会社の価値向上の多くは「働き方改革」という言葉に集約でき、それは「自分」だけでなく「チーム」で挑戦し突破していく必要があります。これまでの2年間、「自分が主役になる」を部門テーマに掲げ、「縁の下」の力持ちではなく、最前線で会社の価値向上に寄与できる人財になることを求めてきましたが、今年は個人ではなくチームが主役になり、「働き方改革」をつうじて得た知見で、社外の方々へと伝播していくためのコミュニケーションハブになります。

当社のウェルビーイングな取り組み

当社では、社内組織「ウェルビーイング委員会」で横断的に様々な取り組みを協議しています。過去、それぞれ社外報でも発信してまいりましたが、代表的な取り組みを紹介させていただきます。

1 催事での表彰(安全標語・ヒヤリハット事例)
毎年5月から募集している安全標語・ヒヤリハット事例の優秀作品を、8月に開催しております「安全宣言の日」内で表彰しております。

2 10年ごとの勤続に感謝とお祝いをお伝えするための永年勤続表彰
クリーンクルーを含めた全社員を対象に、勤続10年ごとにお祝いの場を設けております。当日参加できないスタッフへは、個別で営業担当が表彰しております。

3 大切なひとと素敵な時間を。バースデーカードでのお祝い
年に一度、大切なひとと思いを届けてほしいと、ささやかながらバースデーカードとあわせてハーゲンダッツ券をお送りしています。こんな年齢になって祝ってもらえると嬉しいと、スタッフみなさんに喜んでいただいております。

4 会社の取り組みを知ってもらうための社外報・社内報送付

以前従業員アンケートを実施した際に、弊社の好きな点としてアルバイトスタッフにまでわざわざきちんと会社情報を届けてくれる、という回答をいくつもいただきました。当たり前になると気付かなくなりますが、意外に大切なことだと感じました。

5 人生100年をキレイと健康で過ごすためのロコトレ啓発

酒井自らがYouTubeチャンネルで動画配信をおこなったり、昨年12月8日に星ヶ丘で開催されたアクティブシニアを応援するイベントへ協賛しユタコロジーオリジナルロコトレをステージで踊ったりと、普段の現場での実践へとつなげております。

経営計画発表会を終えて

本年は、「健康経営優良法人認証」やウェルビーイング関連の認証も取得する計画をしております。今日よりも良いと思える明日を創る。ステークホルダーの皆さまの生きがいや働きがいを創出できるよう、これからも社員一丸となってウェルビーイング向上に邁進してまいります。引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。

代表取締役 酒井 秀京



BM NEWS

当社クリーンクルーが表彰されました

2月18日、愛知芸術文化センターで開催された一般社団法人愛知ビルメンテナンス協会主催「2025年度 労働安全衛生大会」にて、「私のヒヤリ・ハット」事例の部で当社クリーンクルーの山口由喜江さんが優秀賞を受賞しました。

山口さんの日頃の安全に対する高い意識が表彰という形で評価いただけ、会社としてもとても嬉しいです!

今後も、クリーンクルーも含めた社員一同、安全第一で業務にあたっております。

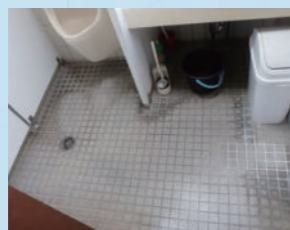


BM NEWS

清掃作業のご紹介

今回は、長年頑固な汚れが蓄積されたゴルフ場コース内の茶屋トイレの床面タイル特別洗浄と、会議室のカーベットの洗浄と目立てについてご紹介します。

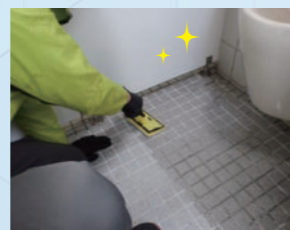
<事例1> トイレ床面タイルの黒ずみを除去するために、通常の洗剤ではなく、特殊な酸性洗剤を使用しました。汚れは丁寧にブラシで擦りとり、モップ洗浄で除去した汚れを拭き取ります。その後、コーティングを塗布し、汚れが表面に蓄積しないよう対策をしました。想定より少し時間がかかりましたが、お客様にご満足いただきました。



洗浄前

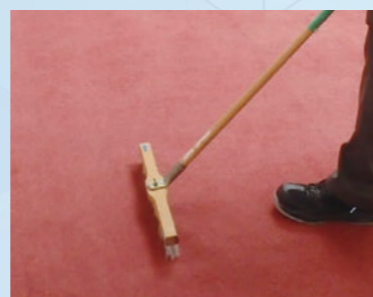


洗浄作業中



コーティング作業中

<事例2> 会議室のカーペット洗浄と、目立て作業です。カーペットは汚れが付着するため定期的な洗浄が必要ですが、同時に目立て作業も大切な作業です。目立て作業とは、ブラシでカーペットの毛足を一定方向に整え、毛を立たせることです。そうすることにより、洗浄後の乾燥が早まる効果と同時にふわふわ感が戻り、見た目もよりキレイになります。



Well-being ニュース

空間と人のキレイと健康へ寄与する事業を推進するユタコロジー。Well-beingな取り組みをお知らせいたします。

REPORT 1

2025年度 椋山女学園大学東ゼミとの産学連携PJ制作パンフレットの完成報告会が開催されました!

1月8日(木)、2025年度の産学連携PJに関する制作パンフレット完成報告会が開催されました。当日は、本プロジェクトに協賛・協力して下さった企業さまをお招きし、学生が司会、進行、パンフレット制作を通じて得た学びと気づきの報告と企業さまへの御礼をさせていただきました。

また、企業さまからも取材時の思い出やこれから社会に出ていく学生へのメッセージ、本プロジェクトへのお気づきの点などをコメントいただきとても充実感のある報告会になりました。



プロジェクトとしては、これから開催される新3年生向け就職ガイダンスでのパンフレット配布が残っております。

4月からは2026年度PJがスタートすることが決定しているため、本行事を通じて後輩たちに想いの詰まった温かなバトンが渡されることと思います。

学生のみならず、地域の優良企業の皆さま、当社の三方良しとなるプロジェクトとなるよう更なる改善を重ねてまいります。

REPORT 2

中部経済産業局主催の脱炭素セミナーに登壇しました

1月29日(木)に開催された中部経済産業局主催「基礎からわかる!」-クレジットとカーボンオフセット活用セミナー ~ J-クレジットで広がる未来 - 企業価値を高めるカーボンオフセットの新常識 ~」に、Well-being事業部の平岩が登壇いたしました。

当日は、サービス業であり電気使用量や排ガス排出量が比較的多くない当社が、なぜカーボンオフセットに取り組んでいるのかという点について、「企業価値の向上」という観点からお話をさせていただきました。

本セミナーにはさまざまな業種・業界の企業様が登壇されており、脱炭素に向けた具体的な取り組み事例を伺う中で、脱炭素の取り組みは単なる環境対策にとどまらず、従業員の働きがいや安心感、その結果ウェルビーイングの向上にもつながっていくという点を、改めて学ぶ機会となりました。

脱炭素分野においても地域やお取引先の皆さまに安心いただけるよう、これからも積極的に推進してまいります。



REPORT 3

女性の活躍プロモーション事業「あいち女性の活躍促進研修会」に登壇しました

2月16日(月)に開催された愛知県主催「あいち女性の活躍促進研修会」で、Well-being事業部部長の久米が登壇し、プロモーションリーダーの中小企業優良取組事例として椋山女学園大学との協働PJについてお話ししました。

なかなか女性活躍と縁遠いビルメンテナンス業が主事業である当社が、どのような課題を抱え、どのように女性活躍を捉え、なぜ椋山女学園大学との協働をはじめたのかについて発表をおこないました。

当日は、愛知県内に事業所をかまえる企業経営者、人事担当者、女性の活躍に関心のある方々に参加いただきましたが、参加者からは「自分の会社も似たような状況で非常に勉強になった」「取組みの経緯に強く共感し、とても感動した」と感想をいただきました。

企業規模問わず、女性活躍推進の、ひいてはウェルビーイング推進にお役立ちできるよう、これからも精進してまいります。



REPORT 4 「Well-beingセミナー-生理痛体験会-」を開催しました

2月12日(木)、株式会社IHI様(東京都江東区)でWell-beingセミナー「生理痛体験会」を開催いたしました。今回のセミナーは、ジェンダーギャップ解消に向けた女性特有の健康課題に関する体験型研修としてご依頼いただきました。

管理職から一般職まで、また本社勤務以外の方も含めた方々に参加いただき、生理痛体験とともにグループワークをおこない、今後の職場環境にむけた望ましい声掛け方法を討論していただきました。

開催した内容をもとに、今後の職場展開にむけた検討をおこなっていただけるようです。

皆さまの女性活躍、ひいてはウェルビーイング推進に貢献できるよう、今後も啓発活動を続けてまいります。



REPORT 5 健康経営EXPO名古屋に出展しました

2月25日から27日にポートメッセなごやで開催された「【名古屋】総務・人事・経理 Week」内の健康経営EXPOに出展しました。

今年は1月の厚生労働省からのガイドライン発表や4月の女性活躍推進法改正など、女性特有の健康課題を取り巻く環境が大きくかわる年であることから、「ウェルビーイング推進」「女性活躍」「健康経営」をキーワードに月経痛体験会や産学連携PJのコンテンツで出展した当社ブースへ非常に多くの企業様にご来訪くださいました。

お客様の健康経営推進をつうじて「働きがい」創出に寄与できるよう、引き続きウェルビーイングを追求してまいります。

